

井戸端 市民通信

月刊

読者のみなさんのページです。最終面に掲載している広報クイズの答えと一緒に、気ままなひとこと、ちょっと言いたいひとことを、お待ちしております。

読者の伝言板

敬称略

ヘルパーとして…この仕事は人間的な仕事としての魅力が数多く、利用者のみなさんとの出会いはとても大切な関係を作り上げることが出来ます。そのうえ感性まで磨いていただけると最高です。連日、人生経験の豊かな方がたから「なるほど」とたくさんの知恵と勇気と、元気までいただいで感謝してます(渡部 栄子 61歳・土崎港)

介護保険サービスあれこれを何回も読みました。年寄りが年寄りの介護で大変ですが、みんなのおかげで助けられ、ありがとうございます(渡辺テル 79歳・土崎港)

市の助成を受けて初めて「人間ドック」を受け、思いがけず「子宮がん」を発見。おかげさまで初期症状だったため、手術も成功し、術後十日ほどで退院できました。家系を三代さかのぼっても「がん」の血脈はなく、全くの油断でした。初めての検診で異常を発見していただき、病院の先生や看護師さんの献身的な看

護で傷もきれいで問題もなく、現在自宅で療養しています。「人間ドック」を受けなければどうなっていたか。本当にありがとうございます(ペンネームなつ 68歳・八橋)

IT講習に申し込むため、初めて往復はがきを書きました。しかし結果は抽選に落ちてしまいました。一から習いたいので次もはがき送るぞ！(千葉友美 24歳・広面)

今年千秋公園の堀のハスの花が工事のためだめかと思っていました。なんと咲いていました。あらためて工事の人の思いやりと自然の力に驚いています。来年もぜひ美しいハスの花を見たいと思います(大浦五郎 77歳・千秋)

最近すっかり涼しくなりました。冬の訪れも間近。九州で生まれ育った私にとって苦手な季節がやってこようとしています。「秋田の冬が大好き」といえる時が来る日まで、雪と寒さと「にらめっこ」しながら慣れていければと思ってい

地域のお話 おしえて!!

このコーナーでは、町内や地域のいろいろな話題を紹介していきます。耳よりなニュースがありましたら、広報課までお知らせください。

☎(866)2034 FAX (866)2287

天徳寺で佐竹氏入部400年「義宣公追悼大法要」 佐竹ささらが舞う！勇ましく、華麗に

10月17日、佐竹氏の菩提寺である天徳寺で、佐竹氏入部400年を記念し、佐竹義宣公追悼大法要が行われました。県内外から佐竹氏ゆかりのかたがた約80人が本堂に集まり、僧侶約50人による読経が唱えられ供養の儀式が厳かに行われました。

法要終了後、境内山門前で演舞奉納された「佐竹ささら」は、慶長の国替えで秋田に転封され、意気消

沈する義宣公を、家臣である足軽たちが勇気づけるために舞ったものと伝えられています。

ささらを舞った道地ささら保存会の堀内金蔵会長(能代市)は「入部400年という節目に呼んでいただき、一同意気込んで参りました。観客のみなさんにも喜んでいただける伝統のささらを、これからも誇りを持って守っていきたくです」と話してくれました。



佐竹ささらの演舞。当時、義宣公はどんな思いで眺めたのでしょうか